

## 石教研専門部会事務職員部会 第二次研究協議会 第4分散会記録

1、 全員自己紹介後、進行説明

2、 討議の柱1について

Q 保護者負担の公費化に向けてどのように組織的に取組んだことについて司会より発言を求める

石狩：部会の開催が十分にできていない中、どこの市町村も色々な調査を行っている。今後は、これらの調査をどのようにすすめ、具体化していくかが大切だと思う。

千歳：今年6月から高速プリンターを全校に導入した。事前に5000枚単位で使用枚数を調査した。現在はオーバーしている学校はないが、オーバーした場合どうするか？個々の学校の余剰分はまわせないのか？検討課題である。ただ、モノクロレーザーや定額制プリンターと併用して使っているという問題もある。

石狩：高速プリンター1台ですべて賄っている。定額制プリンターからの入れ替えだが、経費は安く抑えられるようになった。

予算を浮かすには、用紙代の節約が大事であるし、公費化につながる。

江別：職員会議のやり方をPDF化し、ペーパーレスで行い、用紙代の節約をしている。書き込みが出来ないとか意見があるが、今はPDFでも書き込みが出来るようになっている。

江別は、小規模校5校を除いた学校に、高速プリンターを令和4年4月導入に向けて取り組んでいる。各学校の使用枚数は、事前に教育委員会が調査、把握し、どのメーカーを導入するか検討中である。

北広：連絡事項は、校務支援システムとGIGAタブレットPCの活用で用紙の節約をしている。

グループウェアの活用も含め考えている。

江別：職員会議や職員間の連絡事項のペーパーレス化は、管理職や教員の意識の持ち方や事務職員の認識次第でクリアできるのではないか。

当新：教育委員会の連絡文書は、外部メールで来るので、いちど文書を印刷しないと情報が回らないシステムになっている。事務職員が印刷している学校は、ある程度印刷する内容を見極めて行っているが、管理職が印刷している学校は、鑑文からすべて印刷しているところもあるので、用紙代に無

駄が出ている。グループウェアのように全員が閲覧できるシステムであればいいのだが。

石狩：石狩も教育委員会連絡はメールで来ている。用紙代の無駄を省くため、データを共有フォルダーに保存して見てもらうようにしている。

司会：北広島市のコロナ禍で学校予算を約10%削減されたが、他市町村で同様なことは、あったか？  
北広島以外は、該当なし。

【休憩】

### 3、 討議の柱2について

司会：今まで「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に変わったが、市町村で行ったことを交流していきたい。

恵庭：コロナ禍で部会ができなかったが、レポートにある資料を基に個々学習を行い、アンケート集約を行った。(レポート参照)

石狩：北広島で学習したSさんの資料や話を聞かせてほしい。  
石狩は、数人にピックアップし、お金以外で何かつかさどっていることをレポートしてもらった。

司会：意識しないで行っているところが多いと思う。色々な面で先生方と話し合うことがつかさどるという事ではないか。

ここから個々の意見を求めます。

恵庭 M：複数配置で道費を担当しているので、自分自身がつかさどっているという意識はない。

恵庭 K：イメージがわからない。その目的とかは何かを考えてしまいわからなくなってしまう。責任感があるような気がする。

江別 M：運営計画の中でどのような仕事をしているのか、そして、それらの仕事をしていれば、つかさどっているのではないか。

北広 S：相談にのれる、相談してくれる様な事務職員像がつかさどるではないか。市町村管理規則が今後改正されたときに、市町村がどの様に変えるかによって事務職員の仕事がかかっている。それを跳ね返すような事を今からしておかないと、今まで何をやったか？行ってきた

か？でのり越えるようになることがつかさどるにつながっているのではないか。それが、相談にのれる、相談してくれる事務職員像につながっている。

石狩 T： 職務標準化がつかさどるであれば、教員も事務職員も隔たりはないと思っている。全道事務研で「領域をやる自由、やらない自由」という話がでたが、それもつかさどるということになる。しかし、従事した事務職員ではだめだと思うので、キャリアにおいて、他職種に発言していける状況が必要である。

まとめ 管理規則にのせない、時代に取り残されない様な仕事、領域実践を行っていくことが大切である。  
今日の石狩管内の職務標準表は管理職に理解されている内容であると思う。